

会 議 録

1 会議名

令和6年度第3回名立区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

1 報告事項（公開）

（1）地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて

2 自主的審議事項（公開）

（1）地域自治区・自治基本条例などの住民自治関連の制度について

（2）名立区の現状（人口動態、団体活動状況、重点取組事項等）

3 その他事項（公開）

3 開催日時

令和6年6月27日（木）午後6時30分から午後8時5分まで

4 開催場所

名立区総合事務所 第2会議室

5 傍聴人の数

0名

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く）氏名（敬称略）

・ 委 員：池垣美津子、石井浩順、高宮末男、中野祐、新田鮎、二宮香里、原田秀樹、矢沢智大、吉沢磯一

・ 事 務 局：桐木所長、沢田次長（総務・地域振興グループ長兼務）、塚田市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、木村地域振興班長

8 発言の内容

【木村班長】

・ 会議の開会を宣言

・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により委員の半数以上の

出席を確認、会議の成立を報告

- ・原田会長に議長を依頼する。

【原田会長】

- ・挨拶
- ・桐木所長に挨拶を求める。

【桐木所長】

- ・挨拶

【原田会長】

- ・事務局に資料の確認と会議録の確認者の発表を求める。

【木村班長】

- ・会議録の確認者：高宮委員、中野委員
- ・配布した資料の確認

【原田会長】

- ・次第2、報告事項（1）地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置の取扱いについて、事務局に説明を求める。

【木村班長】

- ・総務常任委員会資料【所管事務調査】に基づき説明

【原田会長】

- ・今ほど説明のあった内容については、後日アンケートが行われるということで承知した。
- ・皆様のご意見は、そのアンケートの中で回答していただきたいと思うが、この場で質問等があれば発言してほしい。

【石井委員】

- ・この資料は事前に配布されたので目を通したが、正直何を言いたいのが分からない。非常に広範囲であり、何を伝えたいのが見えてこない。
- ・事務局から説明を受けた程度の内容は理解したが、お互いの関係性が見えてこないため、アンケートと言われても回答に困ると思う。

【二宮副会長】

- ・資料7ページの「各地域における地域課題の解決や維持・活性化に寄与する予算の仕組み」の中に方策案とあり、その一つに「必要な予算を計上する制度を創設する」とあるが、これは100%補助の事業なのか。

【沢田次長】

- ・これは、これから新しい制度を創設することになるため、補助率がどうなるかも含め、これから様々な検討をしていくことになると思う。なので、今の段階で補助率は決まっていない。

【原田会長】

- ・地域自治について話し合う時に、同じ土俵の上で話を進めないと全くかみ合わない。
- ・市長が言いたいことや、資料の内容が変わっていくことは仕方ないと思うが、私たちが考えているところと同じところにはいかないように感じてしまう。
- ・やはり話し合う前にひとつにする必要があると思う。

【沢田次長】

- ・この後、地域自治区や自治基本条例について、簡単に説明させていただくが、第1回目の会議でもお話したとおり、皆さんからすれば、こういった制度は馴染みがなく小難しいものだと思う。なので、しばらくの間は地域協議会の場で勉強する機会を設けるので、皆さんから「もっとここを詳しく聞きたい」などの要望があれば、教えてほしい。

【桐木所長】

- ・先ほど、二宮副会長から質問のあった資料7ページの予算について、これは議会の提言書の中で、総合事務所や地域協議会に独自の予算を設けたらどうかという内容を受けてのものだと思う。
- ・地域の皆さんと同じ方向を見て、課題解決をするために総合事務所が判断できる予算を示していると思われる。よって、地域の皆さんが100%を自由に使える予算という意味ではない。
- ・しかし、総合事務所と地域の皆さんが同じ方向を向いて、「これで進めよう」となった時には100%使えるかもしれない。

【原田会長】

- ・アンケートの実施とあるが、いつ頃に実施するかは決まっているのか。

【桐木所長】

- ・現段階では今年度中ということしか分からない。
- ・アンケートで皆さんから何を聞き出したいかといった内容の精査や、何のために使うアンケートなのかなど、考えながら作成する必要がある。

【吉沢委員】

- ・私は、今期初めて委員となったが、正直に言うと何をどうやってどうすればよいのか全く分かっていない。
- ・先ほど次長から勉強会を行うと聞いたので、まずは勉強会を繰り返し、私たちが地域自治等について理解したうえで、委員の活動をしていきたいと思っている。
- ・この資料というのは、市のホームページなどで見ることはできるのか。

【沢田次長】

- ・市のホームページに掲載されているので、どなたでも見ることができる。

【原田会長】

- ・では、報告事項（１）地域自治推進プロジェクトの検討状況及び地域独自の予算事業の経過措置については以上とする。
- ・次に、次第３自主的審議事項（１）地域自治区・自治基本条例などの住民自治関連の制度について、事務局に説明を求める。

【沢田次長】

- ・別冊資料１及び別冊資料２に基づき説明

【桐木所長】

- ・補足説明

【原田会長】

- ・説明いただいた内容をすぐに理解することは難しいと思うが、こういった勉強会を重ねることで、私たちの理解を深めていきたい。
- ・この資料を何度も読まないで、質問するのも難しいと思うが、皆さんはどうか。

【桐木所長】

- ・地域自治というものはなかなか難しい分野で、例えば「産業」や「福祉」といった分野であれば、イメージしやすいが「地域自治」となるとイメージすることも難しいと思う。

【高宮委員】

- ・ 沢田次長の説明で、公民館関係の施設は整理がそこそこ終わったという話があったが、不動地区の公民館は雨漏り等もあり、整理が終わったとは言えないのではないかと。

【沢田次長】

- ・ 不動地区の公民館についてはすでに廃止している。ただ、予算が確保できないため、取り壊さずに残っている状況である。

【高宮委員】

- ・ 公民館の土地について、地元からは「最終的には返してほしい」という話も聞いている。それに、廃止となった建物をあのままにしてほしくないという意見も聞いている。

【沢田次長】

- ・ 承知した。

【桐木所長】

- ・ そういった地元の意見を市に伝えていただくことも大切だと思う。実際に他の地域では、廃止後の公共施設がより一層老朽化しているところもある。
- ・ 市では過去には除却計画を作っていたが、とても追いつかないということで、その計画はなくなってしまった経緯がある。
- ・ 山間部の施設と街中の施設を天秤にかけた時に、まずは街中の施設を先に除却しなければいけないのではないかとという意見も正直ある。その中で、名立区の名南保育園は廃止後すぐに除却されたという事例もある。
- ・ このようなことも地域協議会の中で話し合ってもらいたいと思う。

【原田会長】

- ・ 市全体として、地域協議会は年々、自主的審議事項に重点を置くようになってきていると感じている。
- ・ なので、例えば近所の方との会話の中でも、地域の課題につながることもあるかもしれない。もし、皆さんがそう感じる事があれば、地域協議会の場で提案してほしいと思っている。
- ・ では、次に（２）名立区の現状について、事務局に説明を求める。

【木村班長】

- ・資料N o, 1～4に基づき説明

【池垣委員】

- ・資料の中で、名立区老人クラブ連合会の事務局が折戸となっているが、正しくは社会福祉協議会名立支所であると思う。
- ・また、名立区いきいきサロンのところで、すでに解散した団体がこの名簿に入っているが、新しく設立した団体が入っていない。

【木村班長】

- ・承知した。資料を修正する。

【原田会長】

- ・他に質問等がないようなので、続きの説明を事務局に求める。

【沢田次長】

- ・資料N o, 5に基づき説明

【二宮副会長】

- ・名立の魅力を発信するという中に、例えば区内のどこに公園があるかや、どこで買い物ができるかといったことをホームページなどで発信すれば、移住を考えている人は、「ここに住んだらこういう暮らしができる」ということをイメージしやすくなるのではないか。

【沢田次長】

- ・移住についてや、名立区の情報を発信することについては、少しずつ考えている。

【二宮副会長】

- ・私も先日のまちづくりフォーラムに参加した。先ほどの資料にあったとおり、人口がどんどん減っていくというマイナスな内容もあったが、終わった後にとっても前向きな気持ちになれる講演会であった。
- ・どこか一つの組織が頑張るのではなく、地域全体で一つになって頑張らなければいけないと感じた。批判するわけではないが、小中学校はあいさつ運動など、地域との連携が見えやすいが、こども園は分かりにくい。少し前に、こども園で講演会があったようだが、私たちには全然情報が入ってこなかった。

【沢田次長】

- ・こども園での講演会は対象者が限られていたため、広く周知はされなかったものである。

【二宮副会長】

- ・その件は承知した。ただ、移住を考えている子育て世代が最初に気になるのは、どんなこども園や保育園があるかなど、子どもを育てる環境だと思う。
- ・そのこども園がとても魅力的であれば、移住するきっかけになるかもしれない。
- ・なので、もっとこども園とも連携してはどうか。

【桐木所長】

- ・そのとおりだと思う。発信の仕方は色々と工夫が必要だと思うが、二宮副会長のご意見も取り入れながら、しっかりやっていきたいと思う。

【新田委員】

- ・重点取組の中に「シーサイトパーク名立の遊具の更新」とあるが、前回の協議会では、遊具の更新に約6千万円かかると聞いた。
- ・着実に進めるということは、一気に6千万円を投入するわけではなく、少しずつ進めていくという計画なのか。

【沢田次長】

- ・例えば、うみてらす名立との連携も含め、どのように進めていけばよいかを、担当課と連携しながら話を進めていきたいと思っている。

【原田会長】

- ・次に次第3 その他事項について、皆さんや事務局から何かあるか。

【桐木所長】

- ・皆さんにお配りした所管事務調査の資料について、一番重要なのは自治基本条例の改正であると思っている。
- ・資料によると、今年度にアンケート調査の実施とその取りまとめ、令和7年度には詳細な制度設計を行い、令和8年度以降に条例の改正となっている。
- ・地域自治推進プロジェクトの求めることは、より良いものにするには条例改正しかないという話になっていて、今期の地域協議会委員の役割はいつもより少し大きいのではないかとと思っている。
- ・最初に説明した通り、地域協議会委員の役割は、「地域の課題は地域で解決する」こ

とではあるが、それ以外に、上越市全体の方向性を決めていくという役割も担っていると感じている。

- ・どんな形のアンケートになるかはこれからの協議となるが、地域協議会の皆さんが大きな役割を担っていくことになると思うので、この資料をもう一度読み返していただけると有難い。

【沢田次長】

- ・名立区教育ハンドブックに基づき説明

【二宮副会長】

- ・とても良くまとまった資料だと思う。
- ・昨年度の小学6年生が名立新そばまつりに協力したが、今年度もそういった協力を行うのか。総合事務所としては、今年度もそばまつりに協力してもらおう予定か。もし可能であれば、今年度は小学6年生に「子ども食堂」に協力してもらってはどうかと思う。

【沢田次長】

- ・学校の教育活動の中で年間計画を立てて行っていることなので、今の段階で「今年度は新たにこれをやってほしい」ということは難しいと思う。

【桐木所長】

- ・こども食堂という話があったが、もし具体的に進めるのであれば、どこが実施主体になるのかや、実施方法について検討が必要だと思う。
- ・ただ、市が主体となって子ども食堂を運営するという事は難しいと思う。もちろん、総合事務所として支援することはできるので、相談してほしい。

【原田会長】

- ・次回の地域協議会の開催日について、事務局に説明を求める。

【木村班長】

- ・次回の会議では、地域の団体や小中学校などとの意見交換を予定しているため、関係する皆さんとの日程調整後に開催日を決定する。

【原田会長】

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

名立区総合事務所 総務・地域振興グループ TEL 025-537-2121 (内線 5504)

E-mail: nadachi-soumu.g@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。